

※ 保育の質

- ① 保育内容
- ② 保育環境
- ③ 労働環境

資料7

第1回会議
資料抜粋

● 公立保育所で見えてきた課題

① 職員管理の複雑化(※主に②③に影響)

民間と比較して職員数及び職種が多いことから、職員を管理する園長・副園長への負担が大きい。

② 正職員の負担増(※主に①③に影響)

私立に比べ正職員(常勤職員)の割合が低く、他の職種に比べて責任が重い正職員への負担が大きい。

③ 事務作業の負担(※主に③に影響)

保育計画や日々の保育記録等事務作業にかかる負担が増加している。(私立に比べて遅れてた効率化の推進にはR4年度に着手)

④ 支援の必要な児童の公立保育所への偏り(※主に①②に影響)

支援が必要な児童を受け入れるためには、基準上の保育士数に加えて保育士を配置する必要があるが、公定価格※の制度上、私立保育所等での受入には限界があり、公立保育所で多くの児童を受け入れている。

※ 公定価格 保育所等を運営するにあたって必要であると国が定めた費用

⑤ 慢性的な保育士等の職員不足(※主に③に影響)

会計年度任用職員や任期付職員は、年間を通じ募集し続けている状況。また、保育士だけではなく調理員の雇用も困難な状況。

⑥ 育成機会の確保とキャリアデザイン(※主に①に影響)

日々の業務に追われ、研修等の育成機会の確保が難しい。また、昇格に関し試験制度が導入されていないこともあり、キャリアデザインが描きにくい。

公立保育所の役割及び体制検討のイメージ

